

ACTION！健康経営「自治体 カンファレンス 2024」

幸せを感じられる田原本を 目指して

「健康経営の推進・普及活動」について

「奈良県 田原本町」

2024年12月23日



田原本町のご紹介

奈良県の大和平野の中央に
位置する奈良盆地の田園都市

面積：21.09km²

人口：31,425人

世帯数：13,650世帯

(2024.12 現在)

(主な産業)

農業、製造業、建設業

卸売業、小売業

社会福祉関連業

(町役場) 職員数 546人

内 訳： 正職員 259人

会計年度任用職員 287人

(2024.3 現在)



子どもから高齢者まで 誰もがいきいきとした暮らしを楽しむまち たわらもと

幸せを感じられる田原本



なぜ、健康経営を推進するのか？

「効果的かつ効率的な行政を実現し、
質の高い行政サービスを提供するため」

健康経営の発想に近い

ただし、そもそも！

職員の健康を保持するのは、職場としての責務であり、
「なぜ」という質問自体がおかしいのかも知れない。

「活用」と「解消」を混同しないように
注意しなければならないように感じる。



地方自治体の共通課題の現状

【多様化・複雑化する課題】

1. 少子化・高齢化・人口減少
2. 労働力の減少、財政難
3. 子育て・教育支援の増加
4. 医療・介護・福祉対応の増加
5. 大規模災害、感染症の発生
6. 防災・インフラ・公共交通問題
7. デジタル社会の進展
8. 住民の価値観の多様化など

対応できる
職員の不足

【自治体職場・職員の実情・肌感覚】

- ① 共通課題・リスクに対する議会や住民からの質問・要望等が大幅に増加。
- ② 日々の行政業務に加えて、課題の対策・対応に追われ、多忙化な日々が続く。
- ③ 業務量の増加×労働時間の短縮により、職員の心身の健康状態が悪化。
- ④ 職員の体調不良者、メンタル不調者が減らず、職員の高齢化も進む。
- ⑤ 公務員を目指す若者・青年層が減少し、採用難で、優秀な働き手が不足。

健康経営の実践で解決へ

優良法人2024認定に向けた取組（経緯）

| | |
|----------|---|
| 2021年7月 | 「健康宣言」を行い、健康経営の取組を開始 |
| 2022年7月 | 「田原本町職員 心の健康づくり計画」を策定 |
| 2022年8月 | 「健康経営優良法人」の認定を目指すことを公表 |
| 2022年11月 | アクサ生命保険株式会社と連携協定を締結 第1回「健康習慣アンケート」を実施（12月） |
| 2023年5月 | アンケートによる課題抽出によるセミナーを実施 |
| 2023年5月 | 「健康宣言書」改訂、「推進体制」の明確化、 「戦略マップ」の作成 |
| 2023年9月迄 | 「健康経営度調査」の必要事項の取組を進めて申請 |
| 2024年3月 | 「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」の認定 |

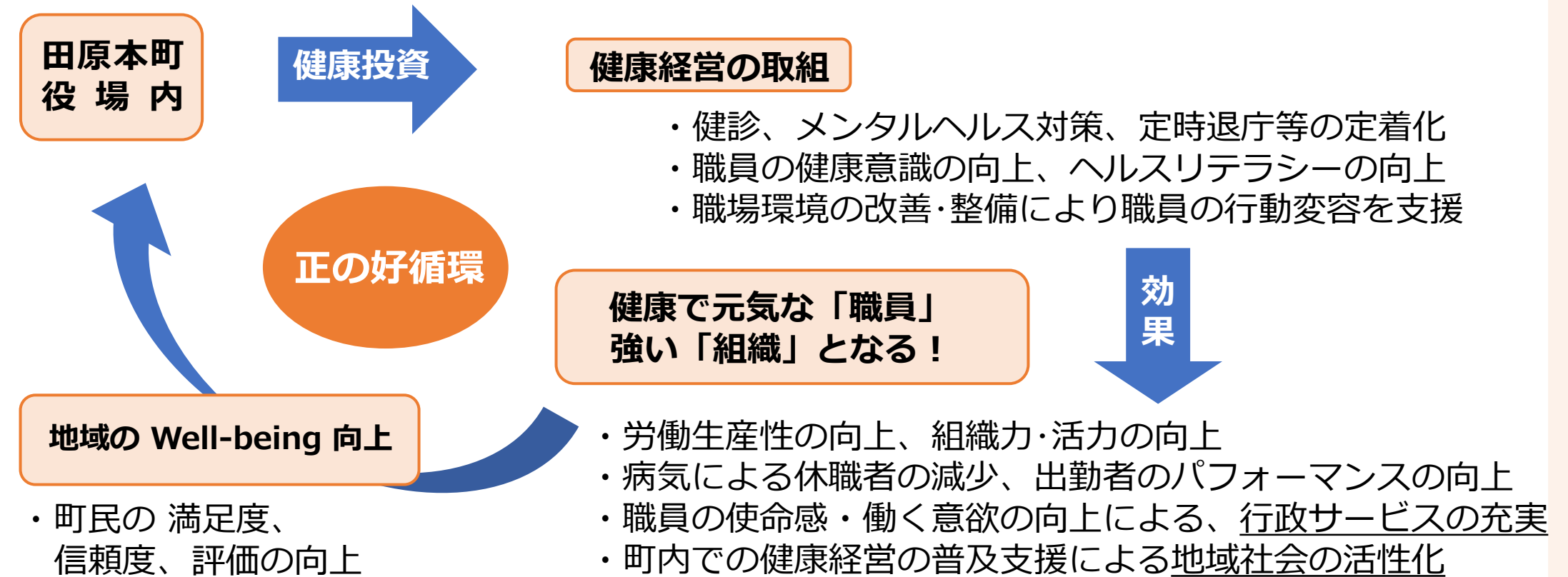


次頁
以降

田原本町役場における健康経営の考え方 2023年5月

健康経営推進のストーリー 「正の好循環」を理解

健康宣言書の改訂、組織体制の明確化、
戦略マップの作成時に、考え方を整理



★ 健康経営は、**地域住民・事業所に利益をお届けできる手法**であることを理解！

健康宣言書

田原本町職員全員が、心身ともに健康で、働く意欲や能力を最大限発揮できる環境は何よりも重要です。健康経営の実践は、生産性の向上や組織の活性化につながり、質の高い町民サービスの提供に資することから、本町の発展に寄与するものと考えます。

職員の健康の保持・増進、組織の活性化のため、以下の項目を重点的に取り組みます。

1. 生活習慣病予防・改善の支援

職員に対して「定期健康診断」を100%実施するとともに、健診の結果により、「特定保健指導」対象者への支援や指導のほか、再検査や治療が必要な場合は医療機関を受診するよう推奨します。

2. メンタルヘルス改善の支援

定期的なストレスチェックや、メンタルヘルスに関する健康教育等を行うとともに、悩みをひとりで抱え込まない、相談しやすい職場環境づくりに向けた取り組みを行います。

3. ワーク・ライフ・バランスの推進

職員の意識改革により、業務の改善と効率化及び労働時間の適正化を図り、健康意識の向上のため、適度な運動、規則正しい食生活や禁煙等を推進します。

令和5年5月26日
田原本町長

健康経営 推進体制

健康経営推進会議

推進内容等を理解し、
健康活動を自分事化

推進管理
部長級・課長級職員

施策の進捗管理

推進員
各課・各学校（園）職員

施策の実施・行動

責任者（トップランナー）

田原本町長

副町長・教育長

部長会

事務局
町長公室人事課

施策の企画・立案・推進
進捗統括・管理

事務局・各担当者
との連携を強化

産業医・保健師

健康課題の把握と指導・勧告

保険者(共済組合)

健康課題の把握と施策の実施

衛生委員会

健康課題の把握と施策の審議

連携

【戦略マップ】

★ HPに掲載中

人財の価値向上

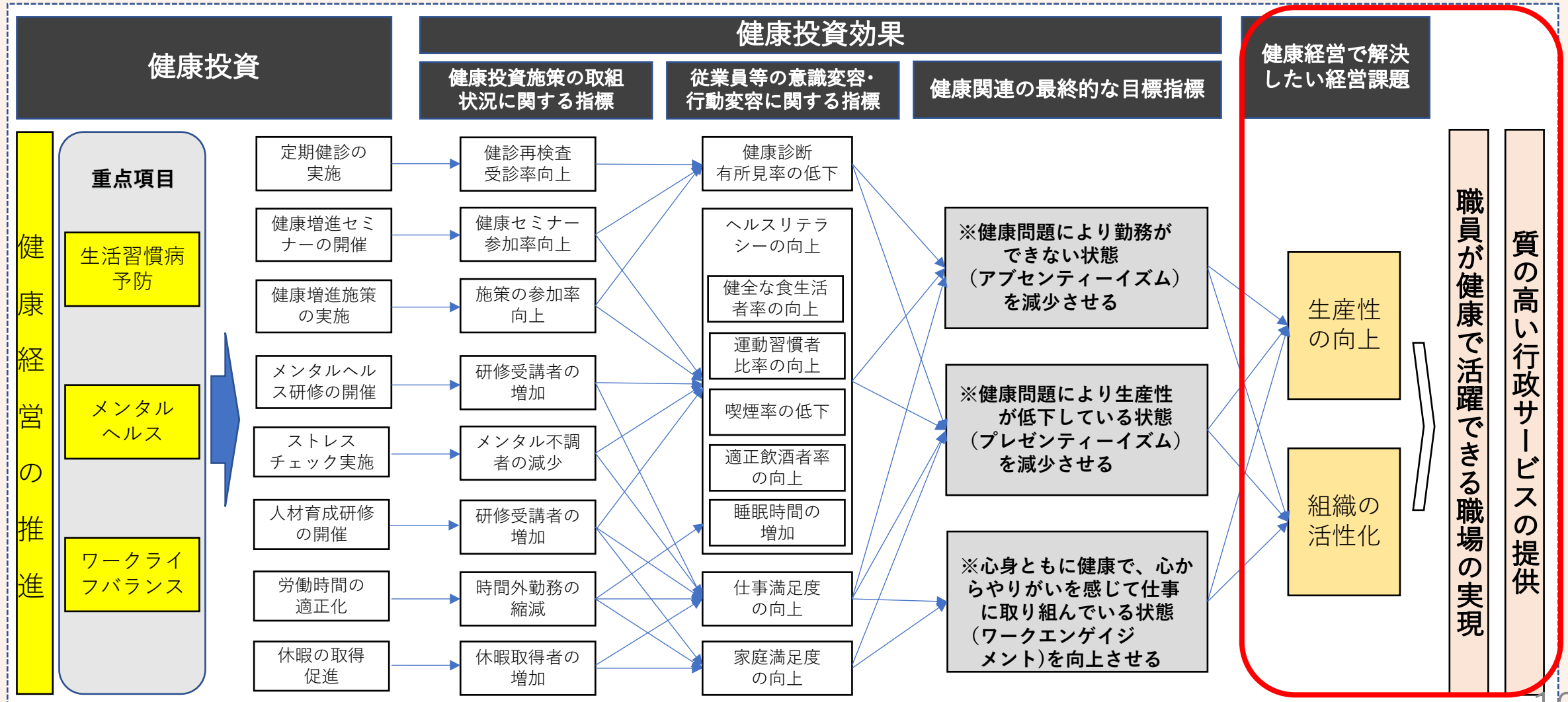
ヘルスリテラシーを高め、心身の健康保持・増進により、働く意欲や能力を最大限発揮して自己成長を図る

組織の価値向上

職員一人ひとりが健康で、生産性の高い職場創りの当事者となり、組織全体のパフォーマンスを高める

社会的価値の向上

より質の高い行政サービスを提供し、健康長寿社会の実現と町民のウェルビーイングの向上を目指す



役場内取り組みの具体例

HPに掲載中

- ▶庁舎敷地内での全面禁煙を開始
(2020年4月より)
- ▶感染症予防対策として換気ルールの導入（毎日3回の換気）
- ▶健康経営ワンポイントアドバイスを毎月1回配信
- ▶健康習慣アンケート実施（年1回）
- ▶アンケート結果に基づく「フィードバックセミナー」（年1回）
- ▶心の健康セミナー、女性の健康セミナー実施（年1回）
- ▶健幸ポイント事業への職員の参加
- ▶奈良県市町村共済組合主催「スマ歩ウォーキング」参加
- ▶働きやすい服装での勤務の実施
- ▶育児休業制度の拡充、不妊治療に関する特別休暇の新設
- ▶ワークライフバランス強化月間の設定
- ▶地域貢献活動として「副業の解禁」
- ▶「1 on 1」の個人面談の推進とメンター制度の導入
- ▶働き方改革として、行政に特化した生成AIの導入

健康経営セミナー

2024年7月4日 第3回健康経営セミナー



階段使用・食事



カロリー消費量を階段に掲示



- ・ 階段踊り場に
カロリー消費量掲示
- ・ 「働きやすい服装」
による勤務の実施
を掲示



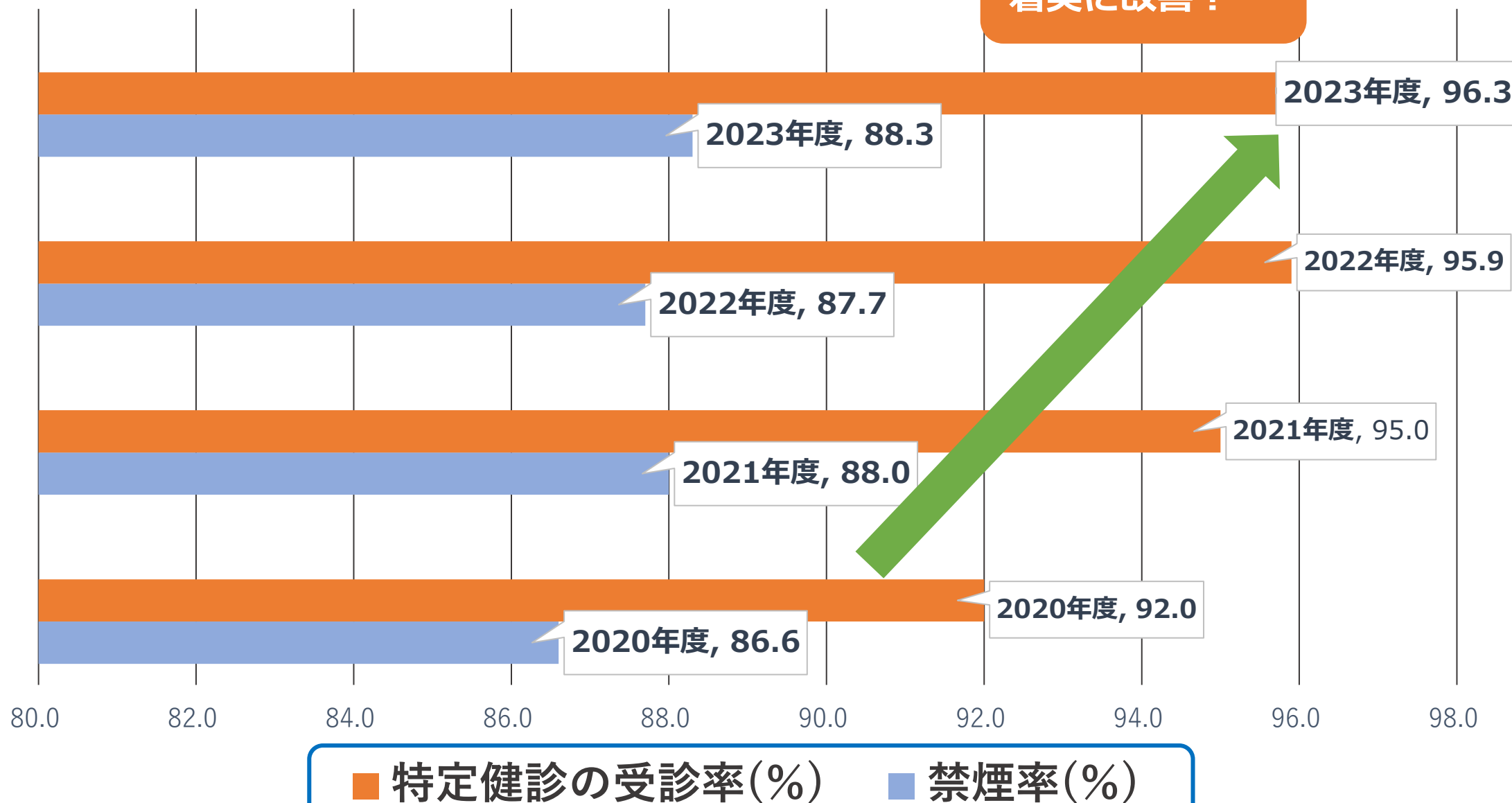
食堂にて「野菜摂取月間」や「腹八分目運動」を周知

リフレッシュルーム（和室）

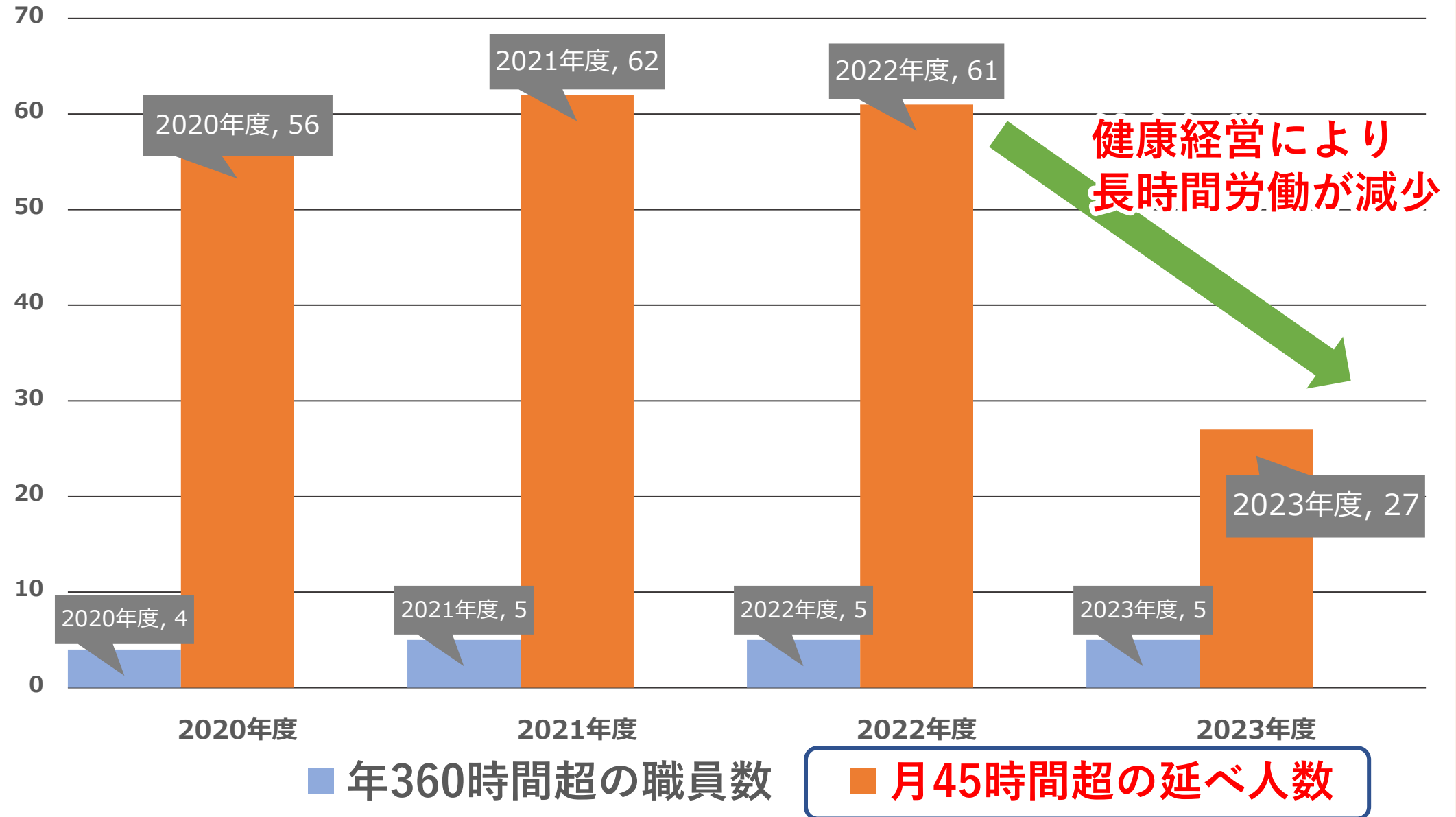


(1) 予防と健康づくりに関する指標

健康経営により、
着実に改善！

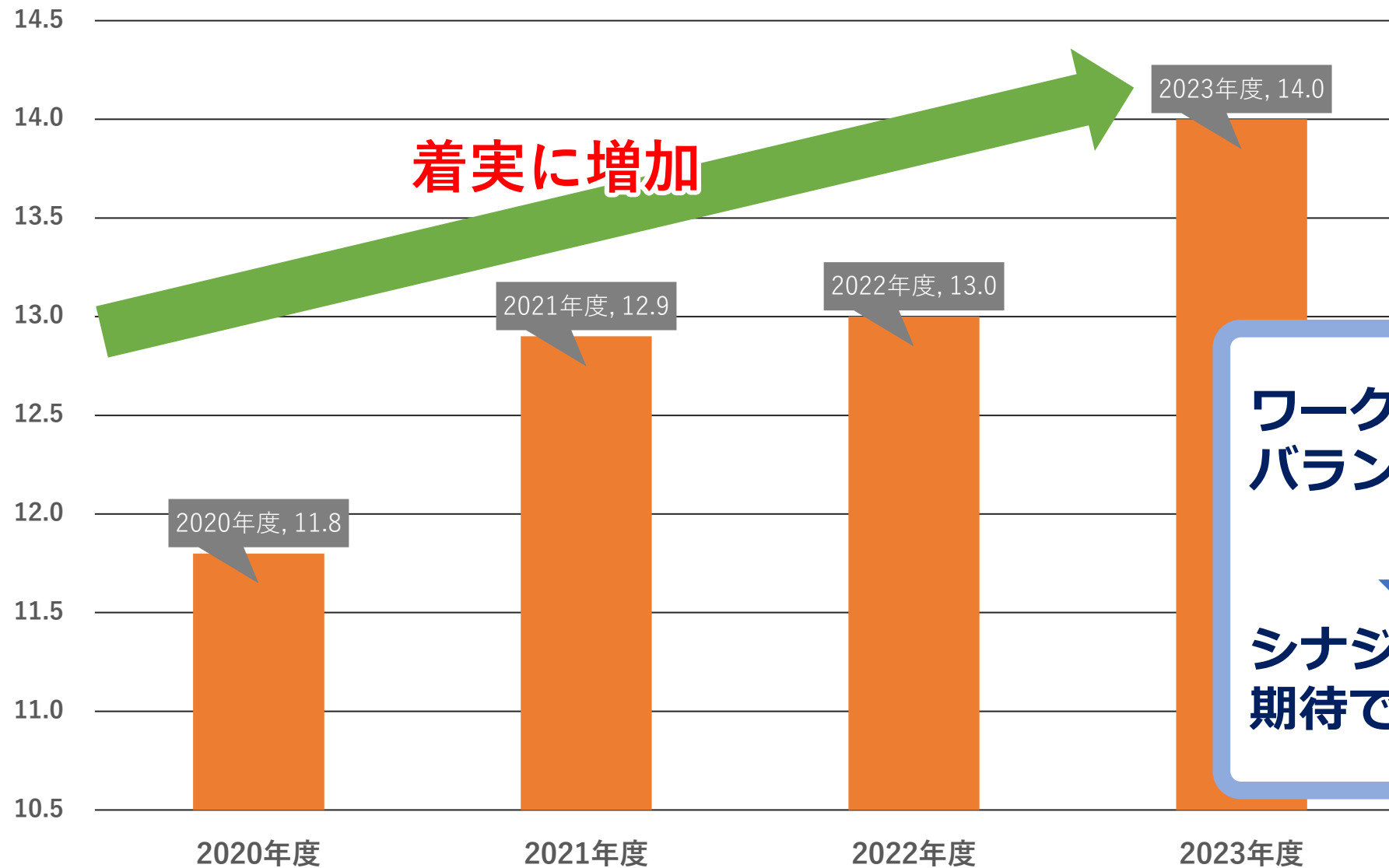


(2)ワークライフバランスに関する指標 ① 時間外勤務(人数)



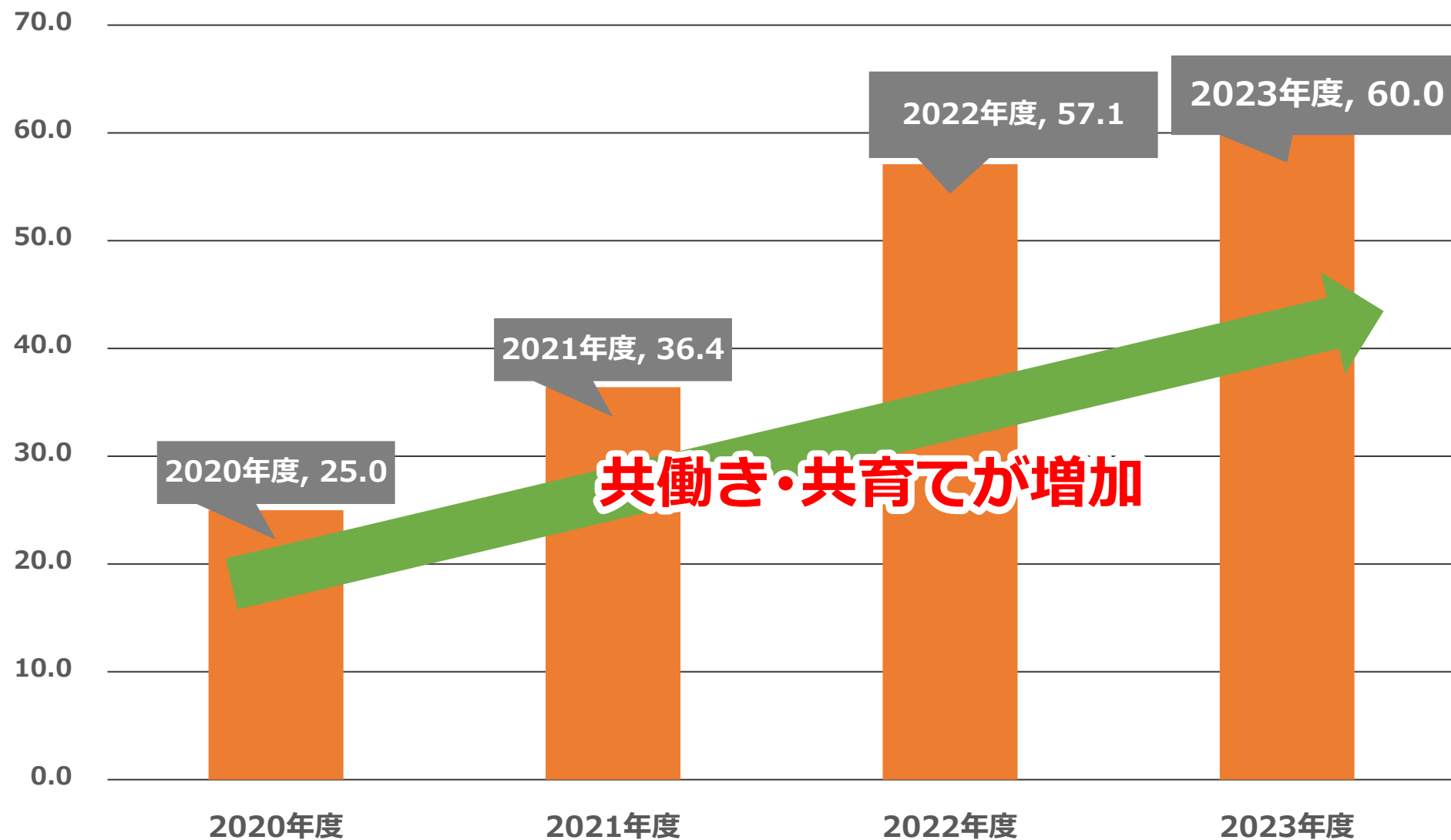
(2)ワークライフバランスに関する指標 ②

年次有給休暇の平均取得日数



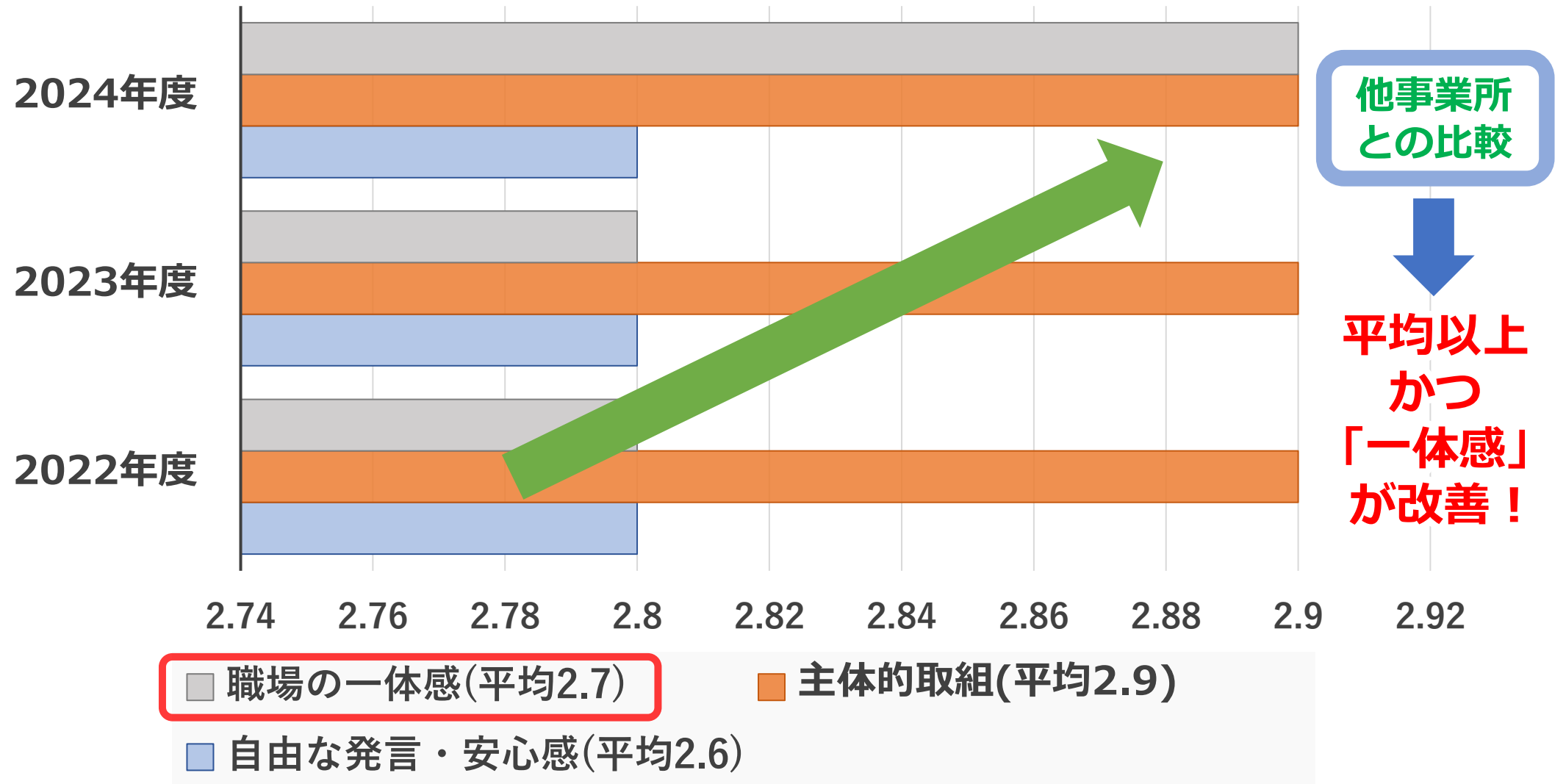
(2)ワークライフバランスに関する指標 ③

男性の育休取得率 ※当該年度に妻が出産した職員に占める育休取得者の割合



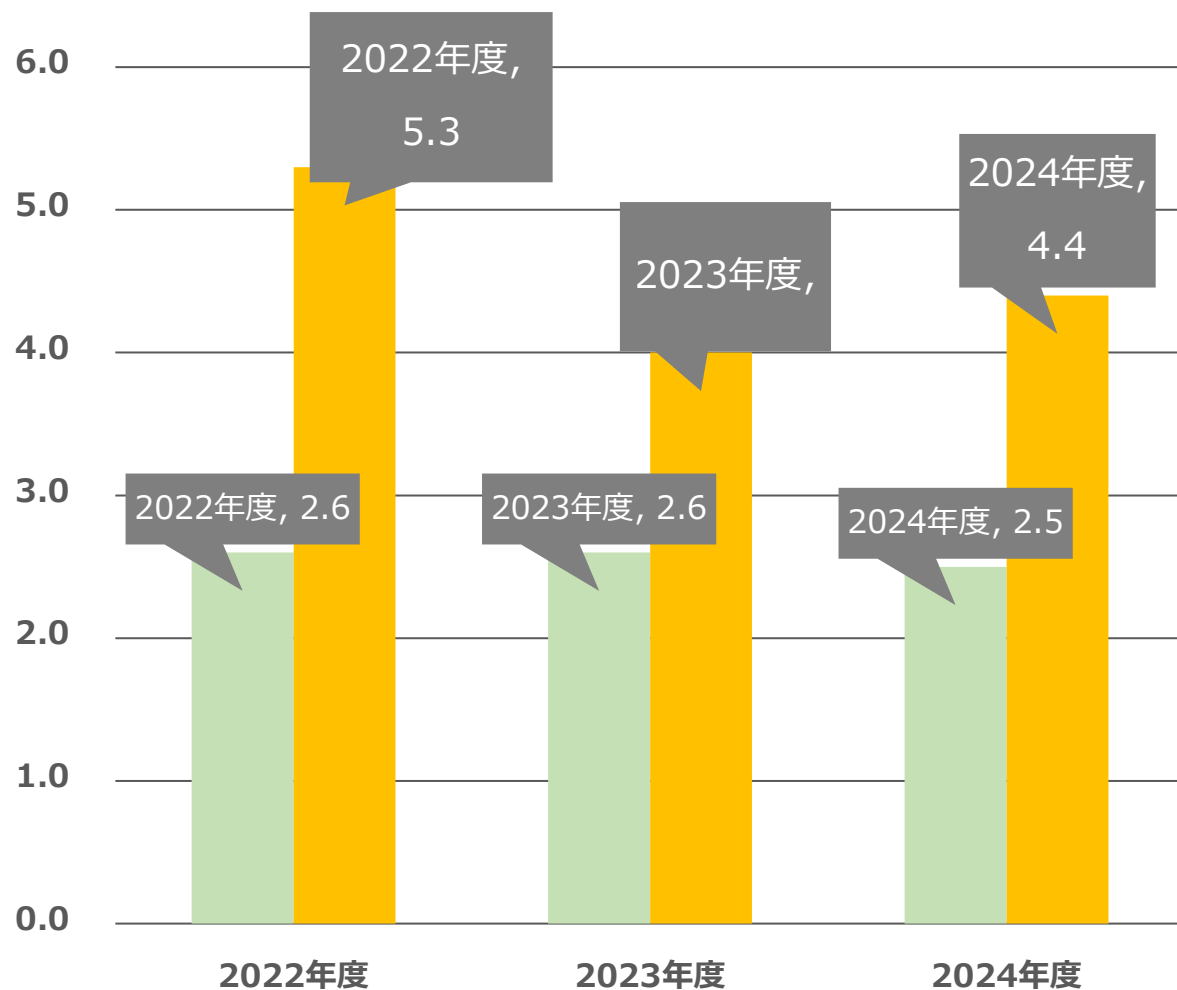
(3) 職員アンケート結果 ①

職場の「働きやすさ」と職員の「働きがい」に関する指標

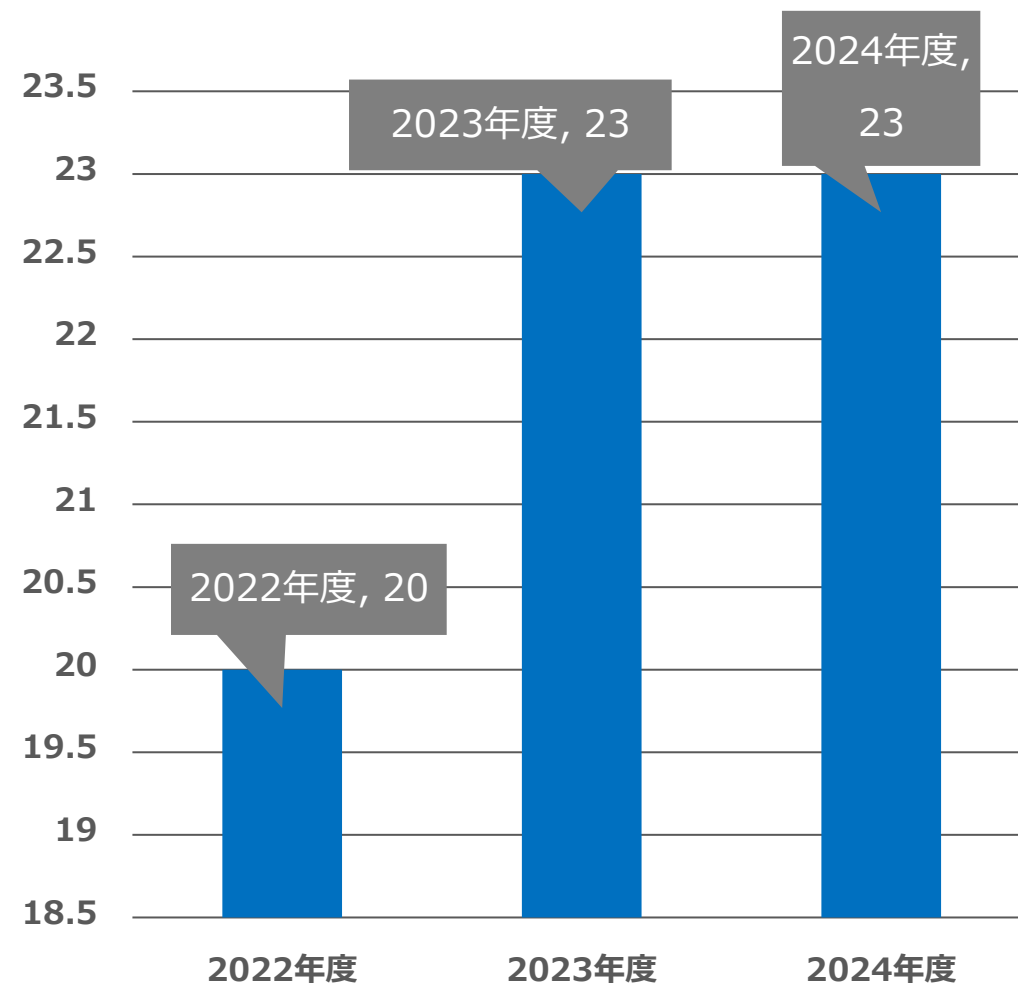


(3) 職員アンケート結果 ② 職員のパフォーマンス向上に関する指標

復職者数・回答者数の増加もあり平均的な数値に留まっている



■ ワークエンゲイジメント(点) ■ アブセンティーズム(日)
最高 4 点



■ プレゼンティーズム(%)

田原本町全域での 「健康経営」普及促進活動について



町内事業所向けの健康経営サポート事業

1. 健康経営優良法人認定事業所へ「インセンティブ」を付与

① 中小企業融資制度における利子補給率の上乗せ

★ 融資額1,000万円以内(6年以内)で、融資利率の1/2(年率1%を限度)の利子補給に加え、認定事業所へは 0.2%を上乗せして補給。

② 本町の調達時のプロポーザル審査における加点評価

★ プロポーザル審査における「社会的な価値の勘案基準」内に規定し、認定事業所へは総合評点の2%を加点。

③ 田原本町 健康経営優良事業所 表彰制度

⇒ 次頁スライド

町独自の優遇措置

2. 協会けんぽ奈良支部、田原本町商工会との連携事業

田原本町「健康経営優良事業所 表彰制度」、健康経営セミナーの開催など

田原本町内事業所の皆様へ

「健康経営優良法人2025認定」を目指し をましよう!

「健康経営優良法人2025(中小規模法人部門)」の申請期間は、令和6年10月18日(金) 17時まで

協会けんぽ奈良支部はヘルスケアプロジェクトなどの町内の健康づくりに取り組んでいる田原本町と令和3年7月に健康づくりの推進に関する包括連携協定を締結し、町内事業所の皆様の健康づくりを推進しています。「健康経営優良法人認定制度」は、2016年度に経済産業省が創設し、日本健康会議が認定する制度であり、特に優良な「健康経営」を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

詳しくは
ACTION! 健康経営 Q
(健康経営優良法人認定事務局ポータルサイト)



健康経営優良法人認定数

| | 奈良県内全事業所 | 田原本町内事業所 |
|--------|----------|----------|
| 2022認定 | 130社 | 18社 |
| 2023認定 | 151社 | 17社 |
| 2024認定 | 188社 | 19社 |

認定数には、大規模法人部門と同時認定された法人数を含んでいます。

「健康経営優良法人認定」のメリット

「健康経営優良法人」に認定されることで、ステークホルダー(従業員や求職者、関係企業や金融機関等の企業の利害関係者)からの社会的評価の向上、認定法人としての自社ホームページや名刺でのロゴマーク使用、ハローワークインターネットサービスでのロゴマークの表示が可能。さらに、中小企業を対象とした「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」、「IT導入補助金」、「事業継承・引継ぎ補助金」、「Go-tech補助金」、「事業再構築補助金」の補助金審査の加点対象にもなります。



全国健康保険協会 奈良支部
協会けんぽ

■営業時間 8:30~17:15(土・日・祝日、年末年始を除く)
■電話番号 0742-30-3700(自動音声③)

協会けんぽ 奈良 | Q

田原本町全世帯向け広報誌 「田原本ダイスキ!」2024.8.30 号

- ・ 田原本町健康経営優良事業所の表彰式
- ・ 健康経営の実践の好事例発表
- ・ 健康経営優良法人2025認定に向けたセミナーの実施、など掲載

田原本町 × 田原本町商工会 × 協会けんぽ奈良支部

健康増進の取り組みが 田原本町内に拡大中!

田原本町、大健闘! 奈良県内39自治体中

| | 健康宣言 事業所数 (96.3.31) | 事業所数に対する 健康宣言事業所数 割合(96.3.31) | 事業所数に対する 健康宣言事業所数 割合(96.3.31) |
|----|---------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1位 | 奈良市 268 | 田原本町 17.78 | 田原本町 3.35 |
| 2位 | 橿原市 99 | 曽根村 15.79 | 山添村 1.79 |
| 3位 | 田原本町 85 | 東吉野村 10.00 | 宇陀市 1.42 |



●「健康経営」とは
従業員等の健康管理を経営的な
視点で考え、戦略的に実践すること

●「健康宣言」とは
事業所全体で健康づくりに取り組
むことを宣言し、その取り組みを協
会けんぽがサポートする仕組み

健康意識がさらに高まる

合はますます高くなっています。また、健康経営優良法人2024に認定された町内事業所は19法人で、事業所数に対する割合でも昨年同様ダントツの1位・左表参照。町役場も県内39市町村で初めて「健康経営優良法人(大規模法人部門)」の認定を受けました。2024年度の奈良県内全事業所188法人のうち田原本町内事業所が1割以上を占めていることからも、田原本町内の健康経営の関心が高まっています。

また、近畿経済産業局ヘルスケア産業係長の布施陽介氏から、健康経営優良法人2025の認定要件や、改定のポイントなどについてご講演をいただきました。近畿経済産業局管内での認定数前年度比は、奈良県が3番目に高いのも誇らしいこととセミナーを通じて、さらに取り組みを強化しよう!と、今年こそ認定に挑戦しよう!と気合の入った事業所も多いはず。「働きやすいまち」「健康なまちづくり」の加速に期待が高まります。

TAWARAMOTO DAISUKI! (8)



田原本町役場3階会議室で行われた表彰式
(後列左から)協会けんぽ奈良支部・町内 専任支援員、田原本町・酒江 啓光町長
(前列左から)株式会社吉井美和保険・吉井 宣和社長、
田原本町商工会・吉井 隆司会長、
町内健康経営優良事業所 代表取締役 吉井 宣和社長

8月8日健康経営セミナー in 田原本町 健康意識が高まり、進む 「健康なまち」づくり

田原本町は、令和3年から全国健康保険協会(協会けんぽ)奈良支部と包括連携協定を締結し、商工会とも連携して「町内事業所の健康経営の普及促進」を目指して様々な取り組みを進めています。その一環として、令和6年8月8日(木)に「健康経営セミナー in 田原本町」を開催。健康経営で優れた成果をあげている町内事業所に対する表彰式が行われました。



「みなさんにおすすめるので、ぜひ健康経営優良法人(大規模法人部門)の認定を行ってほしい」と町長

町内の認定事業所数の割合

法人事業所数や総人口に対する
田原本町内の認定事業所数の割合は**トップ水準**にあります。

奈良県内の

健康経営優良法人2024認定事業所数（計 1 8 6）

大規模法人： 1 5 事業所（うち田原本町内 = 3 事業所）

中小規模法人： 1 7 1 事業所（うち田原本町内 = 1 6 事業所）

- 法人数に対する認定事業所数の割合は、3年連続で
田原本町が県内(39市町村)の中で第1位です。
- 総人口3万人～5万人の全国市町村の中でも、
総人口に対する「中小規模法人の認定数(2024)」の割合は
田原本町が全国で第5位にランクインをしています。

今後の展望

これからの健康経営の推進について

健康経営・人的資本経営
を自治体行政に活かす！



健康経営をさらに普及・進化させてまいります！

人的資本行政の改善・最適化に向けて

○職場環境の改善により、働きやすさを高めます。

＊ 開庁時間の短縮、新たな特別休暇の新設を検討

○職員のエンゲイジメントを高め、成長と安心を支えます。

＊ 「1 on 1」面談、職員教育内容のレベルアップ

○職員の健康をベースとして、組織の価値向上に取り組みます。

＊ 迅速かつ正確な情報共有、職員間交流の促進

【地域社会へ還元！】

地域でのコラボ
ヘルスを推進

(主な連携先)

- ・ 商工会
- ・ 協会けんぽ
- ・ 生命保険会社
- ・ 新聞社
- ・ テレビ
- ・ メディア
- ・ FMまほろば
【79.5 MHz】



ありがとうございました

幸せを
感じられるまち
「田原本」



田原本町公式
キャラクター
タワラモトン

健康経営優良法人
2024認定のQ R C

